

PROGRAM

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 南和歌山医療センター

自主性を尊重した“自由度の高さ” チャレンジできる環境を用意します

南和歌山医療センター 院長 橋爪 俊和



南和歌山医療センターの 初期臨床研修について

当院は病床数316床の和歌山県田辺医療圏で唯一の地域医療支援病院です。ヘリポートを有し、ドクターカーも運用する「救命救急センター」として地域の三次救急を担っているほか、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、へき地医療拠点病院、エイズ拠点病院など多彩な機能を有し

ています。また、当院では地理的問題から地域で可能な限り医療を完結するため、そして高齢化の進展による医療ニーズにも応えるため、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟、認知症疾患医療センターも開設しており、急性期から生活期、終末期まで幅広い医療を提供しています。

このような医療環境のなか、初期研修では多彩な症例を学ぶことができ、かつ、募集定員が一学年2名

VOICE × 初期研修医

確かな基礎力の獲得に最適な病院

初期研修医 1年目 増原 健悟

研修は自由度が高く、三次救急病院としてプライマリ・ケアから重症まで多彩な症例を経験でき、3年目以降の大きな飛躍に向けた確かな基礎力を獲得できます。数をこなすのではなく、個々の症例をじっくり診ながら“考える力”を養う研修ができる、さらにリケッチャ感染症といった希少症例を学べることも特徴です。

PROFILE

出身地：大阪府
出身大学：大阪医科大学（2023年卒）
宝物：健康
座右の銘：果報は寝て待て



医師として大切なことの全てを修得

初期研修医 2年目 住谷 允

ファーストタッチによる豊富な症例経験と丁寧なフィードバックによって幅広い診療力を着実に獲得できます。さらに、地域に密着した病院であるため、コミュニケーションを大切にした寄り添う医療や全人的医療など、医師として大切なことの全てを修得できる環境です。患者さんは穏やかで仕事のしやすさも魅力です。

PROFILE

出身地：大阪府
出身大学：東海大学（2023年卒）
宝物：特になし
座右の銘：凡事徹底



BACK NUMBER × バックナンバー 過去の「NHO NEW WAVE」が WEBサイトから閲覧できます！

https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html

NHO ニューウェーブ 検索



プログラム紹介

と少数であることから、マンツーマン以上の手厚い指導や一人あたりの経験症例数が多いなど、密度の濃い研修を受けることができます。さらに、当院には臨床研究を推進する「臨床研究部」を開設しており、研究や学会発表では全国のNHO病院から集積された膨大なデータを活用できるなど、アカデミックな活動をしたい研修医の要望にも十二分に応えることができる病院です。

地域医療支援病院であるため、紹介状の書き方や紹介患者の経過連絡などを通して地域医療連携を学ぶこともでき、都会とは異なり、地域特性として患者さんに通院を促す際には交通事情を考える必要があるなど、生活背景も考慮した全人的医療を実践する場としても相応しい病院です。

全科共用医局で、診療科間に垣根がないためコンサルもしやすく、部長や医長にもフランクに相談できるなど、“働きやすさ”も大きな特徴です。

プログラムの特徴について

研修医の自主性を尊重し、自分自身で研修プログラムを組み立てる自由度の高さが特徴です。また、研修医は“当直ナシ”であることも当院の特徴ですが、希望すれば当直や緊急手術に入ることもできるなど、より多くを経験したい研修医にとっても、



PROFILE

出身地：和歌山県
出身大学：和歌山県立医科大学（1987年卒）
宝物：家族・友人・生かされている環境と時間
座右の銘：努力は天才に勝る



国立病院機構
南和歌山医療センター

住所 〒 646-8558
和歌山県田辺市たきない町 27-1
WEB <https://minamiwakayama.hosp.go.jp>

病床数 **316床** 診療科数 **25科**

南和歌山医療センターの特徴

救急医療から慢性期医療、終末期医療まで幅広く医療を行う南和歌山医療センター。救急医療では、救命救急センター内に22床のベッドを有し、一次救急から三次救急まで行っており、同院の位置する田辺地区・西牟婁地区の約48%の救急を受けている。

NHO

facebook

& X

本部公式アカウント

facebook

<https://www.facebook.com/nho.headoffice>



X

https://x.com/nho_headoffice



本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください！